



安全データシート

Copyright, 2016, 3M Company
All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	07-9059-2	版	11.00
発行日	2016/07/18	前発行日	2016/03/18

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M[™] 磨き1-L 38050, 39050

3M スtockナンバー

JC-2200-7569-4 JC-2200-9564-3

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分4
皮膚感作性物質： 区分1
水生環境有害性（急性）： 区分3
水生環境有害性（長期間）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H227	可燃性液体
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き**一般：**

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

安全対策

P210	熱／火花／裸火／高温物体のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P280E	保護手袋を着用すること。

応急措置

P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

可燃性気体を形成することがある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	40 - 60
酸化アルミニウム	1344-28-1	10 - 20
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	5 - 15
石油系溶剤	64742-14-9	1 - 10
石油ナフサ	64742-48-9	1 - 10
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	1 - 5
ポリマー	営業秘密	1 - 5
安定剤	営業秘密	0 - 1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：可燃性液体および可燃性固体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

特有の危険有害性

火災の熱で密封している容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。
粉塵は爆発性混合気を形成することがあるので、エアブローを避ける。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐため使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。安全に対処できるならば着火源を除去すること。

熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。－ 禁煙。

火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気での場所を換気する。

大量にこぼれた場合、あるいは区切られた場所でこぼれた場合は、粉塵、蒸気の強制換気を行う。

警告！モーターは着火源になる－モーターは漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気に燃焼させ、爆発させる可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

大量の場合には、下水設備に入るのを防止する為に下水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。漏洩場所を消火泡で覆う。適正な泡形成水性フィルム（A F F F）が推奨される。

ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。

吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。

出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。

粉塵の空気中への放出を避ける。（圧縮空気によるブロー等）

粉塵の発生をさけるために電気掃除機を使う。注意：モーターは着火源になり得る。密閉容器に収納する。

責任者が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気での換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従うこと。容器を密封する。回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。一禁煙。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後は手指をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

粉塵は着火源があると爆発することがある。可燃性粉塵が蓄積しないように定期的に清掃する。

移送、混合により帯電すると点火原となりうる。接地、不活性雰囲気、低速輸送などの必要性を検討する。

本製品の使用により可燃性粉塵が生じることがある。

本製品から発生する粉塵は、粉塵の濃度、点火源などの存在により爆発を引き起こすことがある。製品表面に粉塵が溜まったまま放置しないようにする。

蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。日光から遮断すること。

熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA（呼吸性ダストとして）（8時間）：0.5mg/m ³ 、TWA（総ダストとして）（8時間）：2mg/m ³	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA（呼吸性分画）：1mg/m ³	A4：ヒト発がん性物質として分類できない
ケロシン（石油）	64742-47-8	ACGIH	TWA（トータル炭化水素蒸気）	A3:

			、非エアロゾルとして) : 200 mg/m3	確認された動物発がん性因子, 経皮吸収性
石油ナフサ	64742-48-9	事業者の判断	TWA : 100 ppm	
鉍物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA (吸入分画) : 5 mg/m3	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m3	1 : 発がん性が確認された物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

切削、研削、研磨、旋削への適切な局排換気を備える。

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。粉塵を作業エリアから除外するために、粉塵発生元付近に局所廃棄装置を設置する。

粉塵の除外システム、搬送システム、加工機などの防爆性がどうかを検討する。爆発時の逃し弁、爆発防止、酸素遮断などの必要性を検討する。排気、集塵、処理装置など装置から作業環境への漏出防止措置を講ずる。防爆電気機器の必要性について検討する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた目・顔の保護具を選択・使用する。下記の日・顔の保護具を推奨します。

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、暴露の可能性が高い場合にはつなぎ服などの保護衣を使用する。

ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。

ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露状況を評価し、必要と判断される場合には吸入防止装置の一部として、以下の呼吸保護具の中から選択する。

有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形送気マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	エマルジョン
形状、色、臭い	石油臭、青みがかった白
臭いの閾値	データはない。
pH	8.8
融点・凝固点	適用しない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	93 °C
蒸発速度	4.4 [参照基準: 酢酸ブチル=1]
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気密度	データはない。
蒸気密度	データはない。
密度	適用しない。
比重	0.99 [参照基準: 水=1]
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度	12,000 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	70 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花ないし炎

混触危険物質

強酸

強酸化性物質
強酸化性物質

危険有害な分解物 物質

炭化水素類
ホルムアルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素
毒性蒸気、微粒子

条件

酸化熱ないし反応
酸化熱ないし反応
酸化熱ないし反応
酸化熱ないし反応
酸化熱ないし反応

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。

また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは眼を刺激することがある。徴候・症状は発赤、腫脹、痛み、催涙及び視力低下を含むことがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：症状/兆候には局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥を含む。

アレルギー性皮膚反応（光反応以外）を起こす可能性がある（症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある）。

吸入した場合

気道刺激：症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。

切断、研磨、機械加工によって発生する粉じんは呼吸器系を刺激することがある。徴候・症状は咳、くしゃみ、鼻水、しわがれ声、喘鳴、呼吸困難、鼻と喉の痛み、吐血等を含むことがある。

飲み込んだ場合

胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある）。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000

			mg/kg
製品全体	吸入-蒸気(4時間)		利用できるデータが無い: ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い: ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入-粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
石油ナフサ	吸入-蒸気		LC50 推定値 20 - 50 mg/l
石油ナフサ	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
石油ナフサ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
石油系溶剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
石油系溶剤	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	吸入-粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 3 mg/l
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
安定剤	皮膚	ウサギ	LD50 87 mg/kg
安定剤	吸入-粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 0.33 mg/l
安定剤	経口摂取	ラット	LD50 40 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
石油ナフサ	ウサギ	刺激物
石油系溶剤	専門家による判断	軽度の刺激
ポリマー	ウサギ	刺激性なし
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	ウサギ	軽度の刺激
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	刺激性なし
安定剤	ウサギ	腐食性

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
石油ナフサ	ウサギ	刺激性なし
石油系溶剤	専門家による判断	軽度の刺激
ポリマー	ウサギ	刺激性なし
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	ウサギ	軽度の刺激
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	軽度の刺激
安定剤	ウサギ	腐食性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
石油ナフサ	モルモット	感作性なし
石油系溶剤	モルモット	感作性なし
ポリマー	モルモット	感作性なし
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	モルモット	感作性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	モルモット	感作性なし
安定剤	ヒト及び動物	感作性あり

光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
安定剤	ヒト及び動物	感作性なし

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
石油ナフサ	In vivo	変異原性なし
石油ナフサ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油系溶剤	In vitro	変異原性なし
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	In vitro	変異原性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	In vitro	変異原性なし
安定剤	In vivo	変異原性なし
安定剤	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
石油ナフサ	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油ナフサ	吸入した場合	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油系溶剤	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリマー	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
安定剤	皮膚	マウス	発がん性なし
安定剤	経口摂取	ラット	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石油ナフサ	吸入した場合	発生毒性なし	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	器官発生前
ポリマー	経口摂取	雌性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
ポリマー	経口摂取	雄性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
ポリマー	経口摂取	発生毒性なし	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雌性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	13週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雄性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	13週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	発生毒性なし	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	妊娠期間中
安定剤	経口摂取	雌性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 10 mg/kg/day	2世代
安定剤	経口摂取	雄性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 10 mg/kg/day	2世代
安定剤	経口摂取	発生毒性なし	ラット	NOAEL 15 mg/kg/day	器官発生前

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石油ナフサ	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
石油ナフサ	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
石油ナフサ	吸入した場合	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	イヌ	NOAEL 6.5 mg/l	4時間
石油ナフサ	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
石油系溶剤	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
石油系溶剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
石油系溶剤	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 適用しない。	
安定剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類に	ヒト	NOAEL	職業性被ば

	場合	肺線維症	は不十分。		非該当	く
石油ナフサ	吸入した場合	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 4.6 mg/l	6 月
石油ナフサ	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 1.9 mg/l	13 週
石油ナフサ	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
石油ナフサ	吸入した場合	骨、歯、爪及び/ 又は毛髪 血液 肝臓 筋肉	全て陰性	ラット	NOAEL 5.6 mg/l	12 週
石油ナフサ	吸入した場合	心臓	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 1.3 mg/l	90 日
ポリマー	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
ポリマー	吸入した場合	心臓 肝臓 腎臓および膀胱	全て陰性	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
ポリマー	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	全て陰性	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	肝臓 免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日

吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
石油ナフサ	吸入有害性
石油系溶剤	吸入有害性
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	吸入有害性
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。

セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性 (急性)

GHS水生環境有害性 (急性) 区分3 : 水生生物に有害。

水生毒性 (慢性)

GHS水生環境有害性 (長期間) 区分3 : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
石油系溶剤	64742-14-9		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
石油系溶剤	64742-14-9		データなし。			
安定剤	営業秘密	緑藻類	実験室	96 時間	EC50	0.062 mg/l
安定剤	営業秘密	ミジンコ	実験室	48 時間	EC50	0.18 mg/l
安定剤	営業秘密	ニジマス	実験室	96 時間	LC50	0.19 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度は観察されない。	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	魚	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1 mg/l
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	1 mg/l
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	ニジマス	推定値	96 時間	致死レベル 50%	2 mg/l
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	0.48 mg/l
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.4 mg/l
ポリマー	営業秘密	金魚	実験	24 時間	LC50	>5,000 mg/l
ポリマー	営業秘密	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	>10,000 mg/l
ポリマー	営業秘密	ゴールドエンオルフエ (鯉)	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l

石油ナフサ	64742-48-9		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	致死レベル 50%	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	実験	21 日	有効濃度は観察されない。	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
石油ナフサ	64742-48-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験 又は二酸化炭素
安定剤	営業秘密	実験 生分解性	21 日	生物学的酸素要求量	80 重量%	別法
ポリマー	営業秘密	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 重量%	OECD 301C-MITI (1)
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
石油系溶剤	64742-14-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
石油ナフサ	64742-48-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ポリマー	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.76	別法
安定剤	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.45	別法
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
石油系溶剤	64742-14-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。
取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は2016年6月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

主な法規制物質

成分	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
酸化アルミニウム	189 (酸化アルミニウム)	該当なし。	該当なし。
水素化石油留分 (ミネラルスピリット)	551 (ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。))	該当なし。	該当なし。
石油ナフサ	330 (石油ナフサ)	該当なし。	該当なし。
ホワイトミネラルオイル (石油)	168 (鉱油)	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令別表第6の2 有機溶剤
労働安全衛生法：施行令18条有害物質 (表示物質)
消防法：指定可燃物 (可燃性液体類)
労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：製品名 情報修正。
セクション2：環境影響ステートメント 情報修正。
セクション2：GHS分類 情報修正。
セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正。
セクション2：注意書き - 一般 情報修正。
セクション2：注意書き - 保管 情報の削除。
セクション3：成分表 情報修正。
セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正。
セクション8：作業環境許容値 情報修正。
セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報の追加。
セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正。
セクション8：皮膚保護 - 保護衣情報 情報修正。
セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正。

セクション9：溶解性（水以外）情報の削除。
セクション9：溶解性（水以外）のテキスト情報修正。
セクション9：水溶解性のテキスト情報修正。
セクション9：蒸気圧情報の削除。
セクション10：避けるべき物質情報修正。
セクション11：急性毒性の表情報修正。
セクション11：吸引毒性の表情報修正。
セクション11：発がん性の表情報修正。
セクション11：生殖胞変異原性の表情報修正。
セクション11：光感作性の表情報の追加。
セクション11：生殖毒性の表情報修正。
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表情報修正。
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表情報修正。
セクション11：皮膚感作性の表情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表情報修正。
セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表情報修正。
セクション12：水生生物への慢性毒性情報情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報情報修正。
セクション12：残留性および分解性の情報情報修正。
セクション12：生態濃縮性情報情報修正。
セクション15：法規名 - 表情報修正。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。